

研究課題番号	1 G-2001
研究課題名	モビリティ革命が脱炭素化を実現するための条件
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	名古屋大学
研究代表者名	加藤 博和

1. 委員の指摘及び提言概要

大変意欲的な研究で、初年度からモビリティ革命の構成要素について非常にしっかりした研究成果を出しており、今後の政策に有用と期待出来る。各サブテーマで研究の順調な進展が見られるので、これらの成果を踏まえて、いくつかの代表的なエリアにおいて将来を見すえての総合的な評価がなされることを期待する。また、モビリティ革命と CO₂ 排出量削減の関係をわかり易く分類、評価してまとめて頂くと有用である。2030、2050年を考えると、個別技術・サービスの伸びの予測やインフラ整備の予測に大きく依存するが、この研究の中では時間軸をどう考えるのかを明確にし、メンバーで意識を共有して進め、“脱炭素化の条件”を出力して頂きたい。

2. 採点結果

評価ランク：S